

## (臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 非重症市中肺炎に対する広域抗菌薬投与の要因

[研究責任者] 薬剤部、ICT/AST 薬剤師 丸山浩平

### [研究の背景]

市中肺炎 (community acquired pneumonia : CAP) は、世界的に罹患率および死亡率が高い感染症である。50~60 億人が CAP と診断され、年間 350 万人以上が CAP を原因で二次的に死亡している。市中肺炎のガイドラインでは、過去に呼吸器検体からの緑膿菌の検出歴がある患者、緑膿菌感染の既往がある患者、過去 3 か月以内に静注抗菌薬の投与を受けた入院歴がある患者に対して緑膿菌カバーを持つ抗菌薬の選択を推奨している。一方で、緑膿菌カバーを持つ広域抗菌薬による前治療は、薬剤耐性菌発生の主な危険因子であるため、不必要な使用は避ける必要がある。

### [研究の目的]

当院における非重症市中肺炎の入院患者において、どのような要因を持つ患者に対し広域抗菌薬投与がされたか、どのような要因が緑膿菌検出に影響するかを調査する。この調査により、広域抗菌薬投与の温存が可能と考えられる患者集団を明らかにすることで、今後の市中肺炎の診療及び抗菌薬適正使用に有益な知見を提供することを目的とする。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2021年4月から2023年3月までに、非重症市中肺炎で入院となった患者さん

#### ●研究期間： 2023年12月19日から2024年3月31日

#### ●利用するカルテ情報

カルテ情報：

臨床所見 (年齢、性別、BMI、日常生活動作、酸素需要の有無と需要量、バイタルサイン、症状、喫煙歴、A-DROP スコア)、入院前 90 日以内の入院歴および抗菌薬投与歴、基礎疾患 (悪性腫瘍、自己免疫性疾患、慢性閉塞性肺疾患、脳血管疾患、心血管疾患、糖尿病、慢性腎不全)、常用薬 (副腎皮質ホルモン内服、免疫抑制剤内服、胃酸分泌抑制薬内服)、血液所見 (WBC、好中球数、Hb、PLT、AST、ALT、eGFR、BUN、CRP、Na、ALB、PT-INR)、画像所見 (胸部 Xp、胸部 CT)、尿検体の肺炎球菌抗原検査結果、培養所見 (血液培養の有無とその結果、喀痰培養の有無とその結果、過去の緑膿菌検出歴)、治療 (初期治療薬選択をした診療科・投与期間・転帰、標的治療薬における抗菌薬選択)、治療反応性・予後 (抗菌薬総投与期間、使用抗菌薬総数、入院後 30 日全原因死亡、抗菌薬終了後 30 日以内再発、Clostridium difficile infection

(CDI)発生)

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の参加について]

この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院

薬剤部、ICT/AST 丸山 浩平

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314